

令和5年度



園だより



文京区立根津幼稚園

遊びの中で育つ豊かな心

園長 小島 喜代美

朝夕の気温が下がり、木々の葉が美しく色づく季節となり、いよいよ二学期も最後の月となりました。保護者の皆様には、ご多用の中、幼稚園公開にご参加いただきまして、ありがとうございました。ご提出いただいたアンケートからは、様々な経験を積み重ね、一人一人の子どもたちが元気に園生活を過ごす様子をご覧いただけたことを感じました。今回の園だよりでは、各学年の成長についてお知らせしたいと思います。

5歳児ほし組は、10月中旬に路線バスに乗って「花やしき」に遠足に行きました。その経験を生かして「遊園地ごっこ」をすることになりました。4グループでどんな乗り物を作るか相談し、「スリラーカー」「びっくりハウス」「レインボーメリーゴーランド」「ローラーコースター」を作ることに決まり、設計図を描いて、それぞれの遊びが進んでいきました。途中で欠席も多くなり、なかなか進まず長期間に渡っての取り組みとなりました。少しずつ進めて形になってくると、心を躍らせながら友達と作り上げていく子どもたち。いよいよ遊戯室とほし組をつないだ「すたーやしき」が完成すると、まずは自分たちでプレオープン。そして、3歳児りす組、4歳児はな組にチケットを渡して招待することとなりました。「〇〇が空いていますよ」「こちらでお待ちください」「こちらでチケットを見せてください」など、優しく丁寧に案内するほし組の子どもたち。どの乗り物も大行列で待ち時間も長い中、りす組、はな組の子どもたちは、自分の順番が来ることを楽しみにしながら待っていました。「スリラーカー」では、暗闇の中でリアルに再現されており、りす組の子が「怖いから、もう乗らない」と言っていました。外から「見るだけ」とそっと覗いていました。

4歳児はな組は、11月下旬に上野動物園まで徒歩で遠足に行ってきました。正門までの道のりは遠く、最後に石段も越えて約40分掛けて歩きました。ここからが、動物園の中を見学する本番です。東園、西園を風過ぎまでたっぷり見学。お気に入りの動物を見たり、初めて出会う動物を見たり、大きな鳥のくちばしを手で表現したりなど、楽しい一日を過ごしました。早い時間から「お腹が空いた」「疲れた」との声も聞かれましたが、自分の力で歩くしかありません。集団で行動することで忍耐力や気持ちをコントロールする力、周囲のことも考える力などが育まれていきます。ひとつ大きくなった子どもたちです。

3歳児りす組は、9月からリニューアルした保育室で、いろいろな遊びの場が作りやすくなり、落ち着いて自分のやりたい遊びを十分に楽しんでできました。また、学級のみみんなで一緒に遊ぶ楽しさを感じる経験も積み重ねてきました。園庭では、担任がクマのお面をかぶり、「むっくりくまさん」の遊びを楽しんでいます。歌を歌って「食べられちゃうよ」の声を聞いて逃げるといった簡単なルールのある遊びを楽しめるようになりました。

保護者や地域の皆様に見守られ、地域の中で様々な体験をして育つ子どもたち。二学期も、根津幼稚園の教育に温かいご支援、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。まもなく年末、年始を迎えます。ご家庭で元気にお過ごしください。



優しく関わるほし組



遊園地ごっこの乗り物を楽しみに待つ子どもたち



「むっくりくまさん」を楽しむ3歳児りす組



上野動物園まで歩きたくさんの動物を見学してきた4歳児はな組

